

会 報

平成16年5月15日

てんりゅう



高根城より水窪町中心地を眼下に望む



通称三角山の山頂に築かれた「高根城」に佇めば南北朝時代の感慨にふけることが出来るかも？

会報てんりゅう 第79号

(社)天竜建設業協会 天竜市二俣町鹿島491-5 ☎(0539)26-1562
編集・発行 広報委員会 題字 秋山鋭介 FAX(0539)25-6468
電子メールアドレス tenryu@aqua.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.tenkenkyo.net/>

社団法人天竜建設業協会

会長 秋山錠介

今、新しい年度に向かつて諸事が動き始めている中で、建設業界がどのような環境に立たされているかを考えてみよう。

国の建設投資は、五年連続減で二〇〇四年度の名目建設投資は、十三・二％の五十二兆八〇〇億円となり、八年連続の減少のようだ。また、県においても対前年比二十・二・四％の減が見込まれる。また、倒産企業が年間推計で、三〇社、負債総額で四五〇億円となり、深刻な状況である。協会連合企業も平成十四年度より十五年度にかけて六十社の退会があり、協会の弱体化が加速的に増すことが予想されます。

平成十四年から十五年にかけて、入札契約制度の改正問題、我々建設業界に多大な深刻さを与えるものであった。ダンピングの横行、課徴金の大幅な引き上げ、違約金、損害賠償金、営業停止、指名停止等、入札制度の改正は、罪人がランジガラメに縛られて牢獄に入れられて、身動きがとれないような取扱いをされている状態ではなからうか。我々も利益を追求する企

業であり、何百人・何千人の職員を雇用して、生活の安定を日夜考えて経営をしており、これでは正に罪人扱いと感じる。

次は二年後の市町村合併問題も止に重大に考えざるを得ない。県の出先機関である土木事務所、建設業協会の廃止など、我が身の周囲の懸念が一段と高まる。

我々建設業界生き残りを経て、入札制度の問題を県下一本にまとめ、県並びに新市町村に対して徹底的に交渉に入らなければならない。

この新年度は業界一丸となつて行動を起こすべきであると考えよう。

総務委員会

委員長 今堀 浩寿

当委員会では従来の所轄事項の中でも、適正取引に係る関係法、制度、独占禁止法遵守マニュアル等の周知徹底に関する事項を今年度最も重要な事項として取り組んでいきたいと思います。

平成十六年度に入りまして「公共工事の入札・契約制度の改善」の推進が図られまし

これは、入札契約手続の一層の透明性、公正な競争、適正な施工に努めることによ

り入札契約制度の適正化を促し、公共工事の円滑な執行と品質の確保の徹底を図ることに他なりません。このように格段と進めようとする。本年度にも進められる管内の市町村合併に伴い各自治体が進める入札制度の取組みの調査、研究を進めて行きたいと考えています。これは、新年度以降、各自治体から発信される制度の情報を収集・整理してまとめ、会員の皆さんに提示してまいります。建設業界を取り巻く環境は大きく変化の兆候を現す今、各地区から選出された委員の皆さんに課せられた責務は小さくありません。従前にも増して天竜地区のこれからの問題を掘り下げ委員の指針となる情報を提示していきたく考えます。

IT委員会

委員長 秋山 尚之介

「IT」という言葉が我々の周りに氾濫しているのまにか浸透してしまっています。

この機械・このソフトが無ければこの時代に生き残れないと言われ次々に新しいものが出てくるものに飛びついていった状況の中で今我々に残っているものは何か、ただ古い機械とソフトが残ったので

は何の価値も無いのである。我々を取巻く現状において、電子入札、電子納品等が行なわれてきている中で、何を見出していかを考えた必要があります。我々の本来の目的は、電子操作を半分のものでは無く如何にこの環境の中で対応していくかを考える事が重要ではないかと思われる。まだアンケート等を見る限りでは会員の役職に付いている方がメール等の操作もした事が無いという結果が出ています。状況ではこの先が大変不安になつてきます。

前向きが長くなりましたが、IT委員会としては、①会員によるネットワークの構築。②発注者における建設CALS/ECの把握。③他業界の動向。④IT活用の将来性。等を進めていきたいと思えます。

広報委員会

委員長 清水 充

今回の発行で七十九回を数える広報誌、他の協会ではホームページに移行するところが増えておりますが我々にはあえて紙にこだわって、より多くの一般の方に読んでいただくよう三回発行（一月、五月、九月）の会報「てんり

ゅう」を通じ、天竜建設業協会の活動状況、管内の建設関連事業の紹介、北道地域の身近な話題等、新旧折り添えて掲載していきたいと思っております。自分たちが楽しくなければ、おもしろい広報誌はつけない」という前夏目委員長の方針を受け継ぎ取材および編集活動に頑張っていきたいと思えます。

労務委員会

委員長 長谷川 智彦

労務委員会はその名の通り、現在建設業に従事している方の雇用改善推進、これから建設業に入職しようとしている方の雇用促進等を柱とした労務問題に取り組んでおります。

特に熟練技能者の高齢化による急激な減少、経費環境の悪化による新規採用者の減少は今後の建設業に重大な影響を及ぼす大きな問題であります。当委員会は活動を通して、少しでも解決の糸口が見つかるとともに努力していきたく思います。

会員の皆様にご意見、ご要望をお寄せいただくためにアンケート等を実施したく、その節はご協力御願ひいたします。

土木委員会

委員長 乗松敬貞

長引く建設業の不況の中、我々天竜建設業協会も厳しい時代に突入している。又、平成十七年には広域市町村合併と先の見えない状況となっている。

公共事業のカット、コスト削減などこれから建設業が生きていくには大変な時期になってきている。

我々でもこのところ工事原価がかなりすぎて、もっぱら受注減も重なり、利益がでない状態になっている。いくら現場に明るく図面を見て施工することが出来ても、一人前とは言わず、パソコンも出来ない。パソコンを使えば計算も簡単だし、きれいな書類も出来るが、物作りの原点とは何か、技術者とは何か、少し違う方向に向かっているのではないだろうか。中上だけの技術で監督員もほとんど現場に出ずにいると聞いている。

このままだと技術がないがしるになる恐れがあると思う。土木委員として県土木部及び国土交通省などの懇談会で微力ながらも今の状態を説明し少しでも改善していけばと思

う。

最後に、この厳しい建設業の中ですが皆さんも頑張ってもらいたいと思います。

建築委員会

委員長 松下幹雄

本年度建築委員会の長として会のまとめ役を勤めさせていただき終ります。よろしくお願ひ致します。

地域性の関係から当地域での建築の仕事が非常に少ない。今まで委員会も目立った活動はなかったと思う。

委員会の中の所管事項にも有る事の中から一つでも二つでも出来る事から始めていきたいと思ひますので皆様のより一層のご協力をお願いいたします。

環境・災害対策委員会

委員長 村松敏彦

◎県協会

①環境関係

- ・建設発生土対策
- ・建設産業廃棄物対策
- ・リサイクル事業、環境ビジネスに係る調査研究
- ・自然環境の保全に係る調査研究

◎災害関係

- ・災害時におけるガレキ対策の調査研究
- ・静岡県・神奈川県建設業協会災害対策連絡協議会の運営
- ・静岡県・山梨県建設業協会災害対策連絡協議会の運営
- ・その他災害に係る調査研究

本年度、企画青年委員会とは、二十六名での出発になりました。今までは、講師による各種研修、講習会、地域の意見交換会、電子入札・建設CALS・新人札制度等を踏まえ活動してきましたが、それぞれ、他委員会が活動を開始しましたので、今年度は、新規加入者二名を加え、各委員の意見提示の機会を提供し、合併に関する情報収集・提供をすると共に、委員の研修事業（視察）、他協会委員会との意見・情報交換をしてい

企画青年委員会

委員長 石川雅彦

本年度、企画青年委員会とは、二十六名での出発になりました。今までは、講師による各種研修、講習会、地域の意見交換会、電子入札・建設CALS・新人札制度等を踏まえ活動してきましたが、それぞれ、他委員会が活動を開始しましたので、今年度は、新規加入者二名を加え、各委員の意見提示の機会を提供し、合併に関する情報収集・提供をすると共に、委員の研修事業（視察）、他協会委員会との意見・情報交換をしてい

建災防

主任安全指導員 乗松敬貞

日頃、建災防天竜分会活動に際しては、御協力ありがとうございます。平成十六年度も昨年同様仕事を安全に施工してもらいたいと思ひます。さて、私がここ何年か安全パトロールをして感じたことをお伝えしたいと思ひます。一つ、人通りの少ない現場は安全施設等不備が多い。これについて、どんな現場でも安全施設及び表示を確実に設置すること。二つ、足場関係の不備がめだつ。これは、足場の作業主任者の再教育をお願いしたい。三つ、経営者及び現場代理人の安全に対する取り組みが悪い。これは、もっと安全に対する姿勢を再認識してもらいたい。以上私がパトロールして感じたこと

です。この二つの最低限の安全管理を試みてもらいたいと思ひます。建設業はここ何年か要注減、単価の減少と大変厳しい時代です。このような時に重大災害でも起こすと経営でなくなる恐れがあります。経営者みずから安全に対する意識を高め、仕事を早く安全に良い仕事をしてもらいたいです。

土木施工管理技士会

天竜支部長 小林 彰

この法人は優れた土木工事の施工技術を普及して建設工事の適正な施工の確保を推進するとともに土木施工管理技士の資質及び社会的地位の向上を図り、もって県民生活及び静岡県の建設業の発展に寄与することを目的としています。

目的を達成するため次の事業を行っております。

- 一、土木工事の施工技術の普及
- 一、土木工事の施工技術に関する講習会、研修会等の開催
- 一、土木工事の施工技術に関する情報の収集及び提供
- 一、その他目的を達成するために必要な事業

支部としては、技術講習会（土木、農林）、現場技術発表会、現場見学会、土木に関する技術無料相談会等を開催しています。

今後土木施工管理技士の資質と技術向上のために多方面に渡り、研修会等を開催していきたいと思ひます。

最後に天竜分会員の安全と皆様の繁栄をお祈りします。

リレー「安全バト」⑧

「安全の方程式」

株式会社アキヤマ 遠見石 知

この業界にお世話になってもう二十数年が過ぎようとしています。今、あの入社当時を振り返って

みると「安全第一」という言葉は良く使われていたものの、まだまだ現場をはじめ、全体的に安全に対する意識は低く、どちらかといえば「早く、安く」の方が優先されていたかもしれません。

それが今日では、安全・環境という言葉はどこでも大きく響き、意により優先されていることを実感する時代になりました。

こんな時代の移り変わりの中で安全もたんに言葉にするだけでなく、数式的に身につけるのも大切ではないでしょうか？

危険な場所×危険な作業＝災害の発生

危険な場所×安全な作業＝安全
安全な場所×危険な作業＝災害の発生
安全な場所×安全な作業＝安全
これが安全の方程式です。

やはり安全は自らの意識で作って上げていくものだと思います。どんな場所でも作業をしていても安全作業であれば事故の発生は最小限になるのです。

急がば回れのことわざのように、危ない現場でびくびくしながら作業するより、安全を最優先し、安全な環境の中で作業したほうが効率も上がり利益につながると思います。

こんなことを書いています私も現場に入れば工程に追われ安全の方程式を忘れがちになる現場監督の人なのです。

防災にお世話になってきた一年、またまたの安全指導者ですが皆さんと同様に少しでも安全な現場にしたいと願っています。一人ずつの現場に伺った時はご協力よろしくお願いします。

最近のキーワード

『地域再生』

今年二月、政府は「地域再生推進のためのプログラム」をまとめ、発表しました。この中で、地域の基幹産業の再生を取り組むの重要性を柱の一つに位置づけ、建設業の経営革新の促進などをあげています。景気の好転が一部で見られるものの、ローカル、地域産業ではまだまだ明るさが見えないと云われています。都市部だけでなく、地方の活性化が欠かせないとして、「行政サービスの民間開放による雇用増大と行政効率化」や「観光産業・医療・福祉といった生活密着型サービス業などに、新規産業の

創出」、地域基幹産業の活性化」をあげています。

政府の再生本部では、再生計画の前提として地方公共団体や民間事業者から幅広く地域再生構想を募り、支援プログラムとして提案があった六七三の提案のうち一四一件について認定をしました。

県西部地区では、掛川市などが提案した掛川駅周辺地区の再開発などが含まれています。公共工事の大幅な削減が続く中で、地域再生の切り札として、大いに期待が寄せられています。

平成16年度 経営規模等評価日程表

年 月 日	曜日	場 所	決算期(月)	法人	個人	会 場
平成16年 5月 7日	金	大竜土木管内	平成15年12月 平成16年 1月	○	○	浜松土木
		浜松土木管内(浜北市、湖西市 浜名郡、引佐郡)	平成15年12月 平成16年 1月	○	○	
平成16年 5月24日	月	袋井土木管内	平成15年12月 平成16年 1月	○	○	袋井土木
平成16年 7月 6日	火	大竜土木管内	平成16年 2月 平成16年 3月	○		浜松土木
		浜松土木(管内全市町)	平成16年 2月			
		浜松土木管内(浜北市、湖西市 浜名郡、引佐郡)	平成16年 3月	○		
平成16年 7月18日	金	袋井土木管内	平成16年 2月 平成16年 3月	○		袋井土木
平成16年 8月17日	火	大竜土木管内	平成16年 4月	○		浜松土木
平成16年 9月 3日	金	浜松土木管内	平成16年 4月	○		
平成16年 9月17日	金	袋井土木管内	平成16年 4月	○		袋井土木
平成16年 9月21日	火	大竜土木管内	平成16年 5月	○		浜松土木
		浜松土木管内	平成16年 5月	○		
平成16年10月19日	火	袋井土木管内	平成16年 6月	○		袋井土木
平成16年11月 9日	火	大竜土木管内	平成16年 6月 平成16年 7月	○ ○		浜松土木
		浜松土木管内(浜北市、湖西市 浜名郡、引佐郡)	平成16年 6月	○		
平成16年11月12日	金	袋井土木管内	平成16年 7月	○		袋井土木
平成17年 1月11日	火	大竜土木管内	平成16年 8月 平成16年 9月	○ ○		浜松土木
		浜松土木管内	平成16年 8月	○		
平成17年 1月14日	金	袋井土木管内	平成16年 8月 平成16年 9月	○ ○		袋井土木
平成17年 2月18日	金	袋井土木管内	平成16年10月 平成16年11月	○ ○		袋井土木
		袋井土木管内	平成16年10月 平成16年11月	○ ○		
平成17年 2月25日	金	大竜土木管内	平成16年10月 平成16年11月	○ ○		浜松土木
		浜松土木管内	平成16年10月 平成16年11月	○ ○		

建設ギャラリー

工事名/平成15年度治山(水源総合)
横川地区百古里1工事

工事箇所 天竜市横川字上百古里
工期 平成15年8月5日～平成16年1月30日
発注者 静岡県北遠農林事務所
施工者 村松建設部
(工事概要)

No.1谷止工(真鍮板製陸揚型枠) V=150m²
No.2谷止工(木製) V= 60m²
積厚上(積ブロック) A= 80m²



コメント
本工事は自然の水溜りとなる山間部を総合的に確保するため行われた工事であり、主に地産の木材を使用し、自然と一体化した谷止工が完成できました。

私は磐田市大久保に住んでいます。周りはお茶畑で、というより茶畑一色といった感じがしますが、移り住んで来た約八年前、ここから市立病院やブリヂストンの工場が半径一キロ以内に出て、最近ではかささぎ大橋からの道路も開通し、朝晩の交通量も増えてきました。家族は、長女・次女・妻の四人。そして義父が隣で一人暮らしをしています。同居しているかのように行き来しています。



My Family

桑松建設株式会社

芥川直巳

まずは義父ですが、七十歳。今も現役で「社長が来いって、どうから。」と、週三回静岡まで通い、寒い日は家の周りにある茶畑に手を入れたり家事をしたりと忙しんでいます。私の妻が勤めていることもあり、会社が休みの日は、夕食のおかずを用意してくれたり、子供たちの習い事の送迎をしてくれたりします。義父の作る料理は、新聞のレシピそのままの味に間違いは無いのですが、子供には味が濃かったり、辛かったり、そのかわりお酒のつまみには最適で、私には欠かせない品です。

品に仕上がっています。長女は、中学三年生でバレーボールに明け暮れています。サブのアタマカーとしてがんばっています。私が私に似て低いため、少々伸び悩む気味。しかし「やる気」が表に出るタイプなので中心選手となっているようです。親の目から見てもやさしくて素直な子です。……が、家の中で身の回りの片付けがもう少し出来たらいいな。次女もスポーツ少年団でバレーボール(小・中・高)でセッターとしてがんばっています。影で努力するタイプで私が早く帰ったときには、「練習相手は来た」とばかりにボールを持って「一、二、三」って笑います。「セッター取れば勉強に行けたんだ。あの目に涙が溢るがどうな、そんなチームですが、すごく楽しみたいです。また亡くなった義母がやらせたかった。そして姉妹二人ともピアノを習い、一回となかなかのハードスケジュールです。



かんこくさん

桑野可後場 建設課 技師 松本 佳巳

平成十一年度北里大学を卒業後、静岡市役所に採用され、建設課に配属されました。大学では農学土木を学んだのですが、実際の現場では殆ど役に立たないことを痛感しました。建設課に配属された四年が経過後にも拘わらず、まだまだ勉強することばかりで上司や周りの皆さんに迷惑を掛けていますが、これからも宜しくお願いします。ところで大学時代は青森で過ごしたのですが、非常に良いところですよ。特に私が気に入っているのが十和田湖に建つ八幡宮です。今までに見たことのないような建築で非常に感動したので覚えておきます。皆様も青森に行く機会がありましたら是非八幡宮まで足を運んでみて下さい。

大事なのは、毎日会社勤め。子供が出来てからも会社を辞めずにはいられませんでした。家事を何とかこなし出勤。帰宅してまた家事・子供の送迎と本当に忙しく走りまわっています。何も出来ない私は、せめて誕生日などの家の記念日を忘れないように買っておくことにしています。感謝の気持ちをこめて。



ほろ酔いタイム

今回は天竜市山東かわさかオートの後、巨港「川路」にいます。

「この一主人の古田さん夫婦は五年前に定年を機に磐田から天竜市山東に移り来て、二年前の平成十三年三月よりこのお店を開いたそうです。

自慢の料理は奥さんが担当。数あるメニューの中でもお好み焼きとかトマトチーズ焼きが好評という事でさっそくいただくことに。特にお好み焼きはふっくらおいしくボリュームたっぷり。私と神田のふたりで一人前を分けてちようどよかったくらいです。営業時間は午後五時から十二時まで。定休日は本曜日(二階はカウラターと座敷、二階にも二十名ほど入れる座敷があるそうです。

ご夫婦の人情がアットホームな居酒屋でした。



水窪町役場住民課

戸籍係 伊藤 美

年々亡くなり、広い畑を耕しながら一人暮らしをしています。スタッフの「ここに畑を耕したり、里の下りたりをしませんか？」との質問に「そんな風に思ったり苦しかった事はない。ここが好きだし、自分に合っている。いいと思うから」と笑顔で照れながら話していました。これが自分にあふれているんだと、素直に自分の好きなものを生かす方を誇れることがとても素敵だなと思いました。もうじき鮮やかな新緑が心地よい季節になります。アール・フランス波に包まれて過ごすのが楽しみです。自然が美しい水窪で生活でき、本当に良かったと思います。

